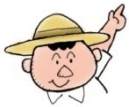


# ナス・キュウリにおける土着天敵利用技術の普及

## 背景と課題

ナスやキュウリなどの栽培で問題となる**ミナミキイロアザミウマ**は、果実を傷つけて商品価値を著しく低下させます。また、この虫に対する防除回数が多くなり、作業に要する労力負担が大きくなります。さらに、過度な薬剤使用によって、この虫に対する農薬の効果が低下する事例も認められています。

## 目的



防除作業の負荷軽減と農薬が効きにくい害虫の発生を抑制するためには、農薬散布回数を減らす必要があります。近年、害虫被害の低減に**土着天敵**の活用が有効であるとわかってきました。そこで、ミナミキイロアザミウマの抑制に有効な**タバコカスミカメ**を周年利用する技術「**ゴマまわし**」を利用し、防除作業の負荷軽減と高品質で安全安心な栽培を目指します。

## 検討内容

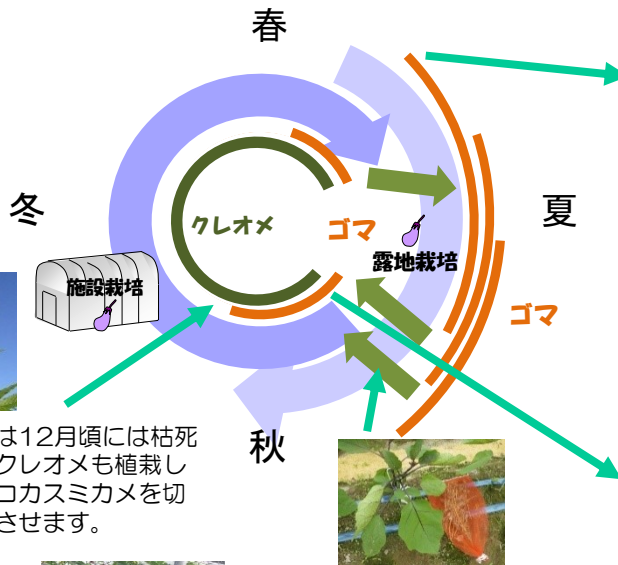
### タバコカスミカメの周年利用技術 「ゴマまわし」の普及支援

「ゴマまわし」とは：タバコカスミカメが好むゴマやクレオメを栽培圃場（施設）内に植栽することで、露地栽培と施設栽培を切れ目なく、同虫密度を温存・増殖する方法。

タバコカスミカメ



微小害虫を捕食。  
ゴマやクレオメで増殖可。



露地では、畝の端や株間にゴマを植栽します。



施設内のゴマは12月頃には枯死しますので、クレオメも植栽しておき、タバコカスミカメを切れ目なく増殖させます。



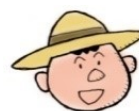
施設では、ナスの定植前に、施設の谷間換気口下など空きスペースにゴマを植栽します。



タバコカスミカメが増殖した露地のゴマの先端を切断し露地から施設に移します。その際には、ネット袋を利用します。

「ゴマまわし」を応用すると、施設キュウリにも利用できます。

キュウリでは、ナス同様に施設の谷間換気口下など空きスペースにクレオメを植栽し、タバコカスミカメを増殖させます。



- ・薬剤を使用する場合は、タバコカスミカメに影響の少ないものを選びます。
- ・タバコカスミカメの効果により、ミナミキイロアザミウマに対する薬剤は、ほとんど使用しなくてよくなります。その結果、防除の労働、コスト負担が軽減されます。

実施期間：平成29年度～令和元年度

問合せ先 徳島県立農林水産総合技術支援センター  
高度技術支援課 電話 088-674-1922